

長崎近郊・五島

本社報道部 (095・846・9240) 西彼中央 (080・4122・2740)

海鮮バーガー販売「感動届けられた」

スタジアムシテイ「磯祿」

長崎玉成高生 レシピ考案、調理も

長崎市愛宕1丁目の長崎玉成高調理科の2、3年生4人がレシピを考案した3種類の海鮮バーガーが20日、長崎市幸町の長崎スタジアムシテイ内の飲食店「磯祿」で限定販売された。

同科は毎年、生徒が県内外の企業と商品を共同

開発。今回は、希望者の4人が約1カ月前からレシピ案を出し合い、磯祿を運営するガッタライ(佐世保市)と打ち合わせを重ね、試作品の製作や商品名、販売価格の設定に取り組んだ。

商品は長崎県産の魚介類を使用。イカリングバ

ーガーは、子どもから大人まで味わえるよう、チリソースの「いかりのイカリングバーガー」とタルタルソースの「歓喜のタルタルイカリングバーガー」(各740円)の2種類にした。「ゆずと大葉香る爽快すり身バーガー」(700円)は、

魚のうまみとゆずや大葉の香りで、さっぱりとした満足感のある一品。

店頭で生徒が実際に調理し、各50個を販売。スイーツの調理に関心がある同科2年の森山佳穂さん(17)は「商品化まで試行錯誤したが販売できて良かった。自分たちのバーガーを通して感動を届けられたと思う」と話した。

ガッタライの川本幸平代表取締役は「高校生の柔軟な発想に刺激を受けた。これからも長崎を盛り上げていってほしい」と話した。

考案したバーガーを店頭で販売した生徒ら
＝長崎市、長崎スタジアムシテイ

(未續真子)

表彰されて「うれしい」と涙をにじませる木下さん
＝長崎市役所



102歳木下さん「涙出るほどうれしい」

シル

長崎市内の60歳以上が手がけた作品を展示する「第53回長崎市シルバー作品展」が24日、市役所2階多目的スペースで始まった。26日まで。

高齢者の生きがいづくりと「敬老の日」の一環で、市と市老人クラブ連合会が1973年から開催。会場には趣向を凝らした手芸品や絵画などが展示されている。

地域おこし協力隊として今年2月に赴任。神楽や念仏踊りなど無形文化の記録・伝承に取り組む。大学で民俗学を学んだ経験を生かし、各地区に足を運んで映像記録や聞き取りを重ね、将来的には資料をまとめて書籍化する構想も描く。

五島市地域おこし協力隊員 しもやま たから
下山 宝楽さん



島の誇りを次世代

あの人
この人

題。外部の協画像撮影や交流(INS)での発信を入れる。「若いを持ち、かつ